



社会福祉法人 岡山こども協会 障がい児サポート 根っこの広場

あかいわ児童発達支援センター（もみじの家・こぶしの家・かりんの家・てつなぎ・わたぼうし）

〒709-0802 赤磐市桜が丘西 10-2-16

放課後等デイサービス あんずの家 〒709-0721 赤磐市桜が丘東 6-6-704

あんず	こぶし	もみじ
3月	3月	3月
～3日(金)個別懇談	～3日(金)個別懇談	～3日(金)年長児モニタリング
4日(土)開所日	20日(月)東備修了式	4日(土)個別懇談
24日(金)修了式	22日(水)卒所式	(4～6月、10月～12月生まれの利用児対象)
	24日(金)地域小学校修了式	6日(月)～10日(金)個別懇談
		(4～6月、10月～12月生まれの利用児対象)
		6日(月)避難訓練
4月	4月	
8日、22日(土)開所日	7日(金)地域小学校始業式	
7日(金)小、中学校始業式		

お知らせ

メーリングリストのご登録

2月27日より、文書、一斉メールでお知らせしております。

事業所から緊急連絡等をさせて頂く際に活用しますので、できる限りご登録下さい。



最近のおすすめ

アフタヌーンティーを食へに行ってきました。行列に並んで限定15食！リボン・プレートの色が選べて季節に応じたケーキ・マカロン・旬の果物が3段のプレートにおしゃれに盛り付けられて、ちょっぴりぜいたくな時間になりました。

次はどこに行こうかな？

新田 富由美



知ってHappy! リフレーミング

そこのあなた！

“面倒くさがり”ではありませんか？
“面倒くさがり”でもリフレーミングすると
良いイメージに変わるかもしれませんよ。



リフレーミング

細かいことに
こだわらない

おおらか

興味を持ったことに
熱意を注げる

編集後記

今年度、最後の施設便りの編集となりました。はやいものでもう3月。別れの季節が近づいてきていますね。社会に出ていくこどもたちに、思い出をいっぱいもって旅立するように。また、いつでもあそびに来てねと笑顔で送り出せるように日々を過ごしたいなと思います。

大森 航輝

『芽を出す季節』

時折小雪がちらつく寒さの中にも、日差しの中には春の気配を感じるようになってきました。日本では3月は年度替わりで、たくさんの行事が行われます。小学校、中学校から高校そして大学まで、学生時代は卒業という節目を迎えます。そしてまた、学生から社会人へと新たなスタートを切る人もいます。中には仕事が変わったり、職場が変わったりする人もいることでしょう。

自然を見ていると、まるで人の生き方を教えてくれているような気がします。冬の厳しい時を経て、春になると、木々の芽があちらこちらに見られます。夏になると木々が生い茂り、秋になるとその葉を落とし、またじっと耐える冬を迎えます。私自身は、若い頃は教職という現場で、たくさんのこどもたちと日々を過ごしてきました。そして縁あってこの岡山こども協会へ来てからは、場所は違えど、こどもたちや多くの職員の方と一緒に仕事をしてきました。若い頃は悩むことも多かったのですが、ある程度年齢を重ねてくると、悩みの対処法がわかってきたおかげで、少し生きやすくなったような気がします。

学生時代でも社会人でも、いつも目標を持って過ごしている人も多いでしょう。この学校へ行き、こんな仕事をし、ときちんと計画を立てるのはとても積極的でいいことです。しかし、人生は必ずしも自分の思うとおりにいくことはばかりではありません。むしろ、思い通りにならないことの方が多いかもしれません。その「うまくいかないとき」の過ごし方が実は大事なのだということを、私は何百何千という人の生き方を通して教えてもらうことになりました。

仕事柄、昔の教え子や先生たちの悩み相談に乗ることもよくあります。そんなとき私が強く記憶に残っている生徒がいますので、今日はその話を皆さんにご紹介しましょう。

男の子で、成績はいい方でしたが、抜群というほどではありません。しかし、いろんな雑学に長けていて、話をすると実に多くのことを知っているのも、おもしろい子だなと感じていました。友達ともいい関係を築き、ちょっとむっとするようなことでも、うまく笑って切り返す才能はすごいと、一目置いていました。

彼は大学生時代にとても苦しい時期があったそうです。自分の思いと進路が食い違い、将来に希望が持てず、毎日自分がどうなるのかと不安と苦しみで眠れなかったといいます。しかし、現実から逃げることなく、毎日自分にできることをとにかくしようとかんがべたそうです。何年かして気がついたら、就職もし、好きな分野で仕事をするようになり、笑ってられる自分がいたといいます。思い通りにならないことも、切り替えてうまくこなしていくたくましさこそ、社会の中で必要な力だと、身をもって教えてくれました。

彼を通して感じたことは「人はどこでも芽が出せる。」ということでした。思った場所でなくとも、どんなところでも、自分にできることを淡々としていれば、そこで芽が出て、そして花が咲くことができるのだと。

「負うた子に教えられ」という言葉があります。若い彼らから学ぶこともまた喜びであらうと思います。人はいくつになっても芽を出すことができる。そして、どんな場所でも自分の芽を出すことができる。それを私はこどもたちから教えてもらいました。

芽を出すのは、若い人だけではありません。シニアになっても、何歳になっても、いろんな場所で芽を出すことができると信じています。まあ、シニアの芽はちょっと固くてとんでもない方向へ出るかもしれませんが、それもまた、味があっていいではないですか。皆さんはどんな芽を出しますか。

あんずの家所長 杉井 康志

生きる力を育もう

今月のテーマ



こぶしの家

『トランポリン』

こぶしの家では、一人ずつ順番にジャンプするというルールであそんでいます。

はじめは、おそろおそろだった子ども、次第に大胆に足に力を入れて高くジャンプすることができるようになってきています。

“飛び跳ねて、着地”をくり返し、ぴよんぴよん飛び跳ねることで足腰を自然と鍛えられるトランポリン。楽しくて大人気です。

伊丹 智也



もみじの家

『バランスをとって』

ホールで一本橋を渡り、サーキットをしました。地面を歩く時よりも、しっかり足元を見ながら、その橋の幅に合わせて足を置き歩きます。バランスを取りながら、自分の身体を支える足を思うように動かせるようになってきました。

大下 鎮佳



あんずの家

『長縄とび』

「両足をそろえてタイミングよく跳ぶ」一言でいえば簡単ですが、これがなかなか難しい。長く跳ぼうと思うと、筋力や持久力、リズム感も必要になってきます。友だちと一緒に跳んだり、自分の記録を伸ばしたりと、楽しみながら足腰を強くすることができそうです。「先生、見よってよ！」と張り切って跳ぶ姿がほほえましいです。心肺機能の向上やリズム感、俊敏性の向上、ストレス発散などにも効果があるそうですよ。

谷口あい



えがおの広場

のこった。のこった。



いろいろな色で描いてみよう



小学生みたいだね！

ナイスセーブ！！

慎重に、慎重に…



窓を飾り付け♪



今月のオススメおやつ

肉まん



月曜日のお楽しみメニューで「肉まん」が出ました。お肉も野菜もたっぷり入って、皮もちもち、ほかほかでした。寒い時期の肉まんは格別ですね。手作り肉まん、ぜひお家でもお子さんと一緒に作ってみてください。

